Alameda County Behavioral Health Care Services

薬剤情報シート：**クロザピン clozapine（Clozaril = クロザリル）**

クロザピンは抗精神病薬であり、精神分裂病、躁うつ病、うつ病およびその他の状態から生じる錯乱、発言、興奮、および脅えの治療に用いられる。さらに、クロザピンの服用によって思考力を明瞭に保つ効果がもたらされることもある。

クロザピンは他の抗精神病薬と異なる副作用を持つため、他の抗精神病薬で効果が得られなかったり、激しい副作用が現われた場合に用いられる。人によってはクロザピンの方が抗精神病薬より副作用が少なく、効果が高い場合がある。

一般的副作用

眠気
めまい／ふらつき
心臓がどきどきする
だ液過多
目のかすみ

時おり生じる副作用

吐き気
発熱
落ち着きがなくなる
震え
体重増加
引きつけ

まれに生じる副作用

筋肉の硬化／けいれん
白血球の減少

クロザリルを摂取している患者の約1～2%に、重大な生命を脅かす疾患を招くおそれのある白血球の減少（顆粒球減少症）を生じることがある。この副作用のために、毎週1回、白血球数を監視する検査を行う必要がある。薬局から1週間分の薬剤をもらう前に必ず血液検査を受け、薬局に正常な血球数の記録を提出すること。

これらの薬剤は毎日服用し、ゆっくりと治療すること。完全な治療には数週間ないし数ヶ月を要する。

7/96ddp

JAPANESE